患者さまへ

「健診で単回に CKD ※stage(G3a,A1)と判定された成人における腎予後の検討」

※CKD（Chronic Kidney Disease）とは、慢性腎臓病といい、腎臓の働きが長期間にわたり低下している状態を指します。

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。
なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2012 年 1 月～2024 年 12 月に当院において当院で健康診断を受けられた方
2 研究目的・方法	本研究は、2012 年 1 月から 2024 年 12 月までに当院で健康診断を受けられた成人のうち、1 回の健診で推算糸球体濾過量（eGFR） 45-59 mL/min/1.73m²かつ尿蛋白陰性を示した方（CKD stage(G3a,A1)に相当）を対象として、健診データのみを用いてその後の腎機能の経過を検討する観察研究です。1 回の健診で CKD stage(G3a,A1)と判定されても、その後に腎機能が回復する方、安定して経過する方、進行する方が含まれる可能性があります。そこで、健診時に得られる情報とその後の健診データから、所見の持続性および進行性腎機能低下の有無を評価し、将来的に進行しやすい方の特徴を明らかにすることを目的とします。研究では、対象となる方の健診データを用いて、eGFR の推移、尿蛋白所見、背景因子との関連を統計学的に解析します。新たな検査や治療介入は行いません。 本研究実施期間は施設院長許可（2026 年 4 月予定）から 2028 年 3 月までを予定しています。
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、喫煙歴、血液検査値、尿検査値、健診受診日、健診受診間隔、健診における eGFR の推移等を利用します。研究にあたり、新たに検査を追加することはありません。
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東1丁目1-1 札幌徳洲会病院　腎臓内科 TEL: (011)-890-1110 研究責任者:札幌徳洲会病院　腎臓内科　荒木真

（2026 年 4 月 6 日作成（第 1.0 版））